指定管理者制度の在り方調査特別委員会 中間報告書

1 調査の趣旨

本市の指定管理施設において、指定管理者の指定の取消しに至ったことから、令和5年12月18日に、「指定管理者制度の在り方調査特別委員会設置に関する決議」が提出され、同日原案可決によって「指定管理者制度の在り方調査特別委員会」が設置された。

以上のことから、本市の指定管理者制度の在り方に関する事項を調査するものである。

2 特別委員会の設置

(1) 設置決議

令和5年12月18日の定例会において設置議決

(2) 委員の定数

7人

(3) 委員長、副委員長、委員の氏名

委員長	菅	原	達
副委員長	横	井	帝之
委員	鶴	見	義明
〃	鈴	木	靖宏
〃	小	倉	健一
〃	澤	田	裕之
〃	長	浜	成仁

3 調査事項

(1) 本市の指定管理者制度の在り方に関する事項

4 委員会の開催状況

(1) 第1回委員会（令和5年12月18日）

- ① 議長の招集により開会され、佐野市議会委員会条例第9条の規定に基づいて正副委員長の互選を行い、委員長に菅原達委員、副委員長に横井帝之委員を選任した。
- ② 各会派及び会派に属さない議員には、調査内容について報告することとした。

(2) 第2回委員会（令和6年1月12日）

- ① 正・副委員長により取りまとめた調査内容について、意見交換を行い、了承された。
- ② 調査内容に係る書類の提出について協議を行い、また、関係書類の事務検査の状況により、調査内容の追加も了承された。

(3) 第3回委員会（令和6年3月26日）

- ① 提出された関係書類の内容確認方法について意見交換を行い、各会派は、課題・問題点等を取りまとめて報告することとした。

(4) 第4回委員会（令和6年4月12日）

- ① 課題・問題点等の一部について意見交換を行った。

(5) 第5回委員会（令和6年5月17日）

- ① 課題・問題点等の一部について意見交換を行った。
- ② 佐野市議会会議規則第44条第2項の規定により、中間報告することを決定し、また、その内容について協議を行った。

5 関係書類の提出等

(1) 令和6年3月5日に、佐野市運動公園、佐野市佐野武道館及び栄公園の指定管理者の指定に係る書類の提出を求め、同月19日に次の書類が提出された。

- ①ア 指定管理者の募集について（平成28年）
- イ 指定管理者の募集について（令和3年）
- ウ 佐野市運動公園等3施設指定管理者募集要項の変更について

(令和3年)

エ 指定管理者の募集について(令和5年)

②ア 佐野市運動公園等3施設指定管理提出書類一式 正 極東エージェックパートナーズ

イ 佐野市運動公園等3施設指定管理者申請書類 正本 団体A
令和3年9月

③ 佐野市指定管理者選定委員会《名簿》 令和3年4月1日現在

④ 令和3年度 第1回佐野市指定管理者選定委員会 会議録

⑤ア 令和3年度 佐野市指定管理者選定委員会【採点集計表】

イ 第2次審査採点票

⑥ 共同企業体の規約、責任分担等 佐野運動公園

⑦ア 令和4年4月～令和5年11月 佐野市運動公園 佐野市武道館
栄公園 月次報告

イ (令和5年4月～10月・12月) 月例モニタリング指定管理者への
確認事項

ウ 議事録(2023年9月12日)

エ 指定管理業務について(令和5年9月20日)

オ 苦情報告

カ 佐野市運動公園等 令和4年度事業報告書 極東エージェックパ
ートナーズ

キ 佐野市運動公園等 令和5年度事業報告書 エイジェック・極東
体育施設共同事業体

6 調査の内容

(1) 調査項目

・佐野市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例、及び、
佐野市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則
について

・佐野市指定管理者制度導入に向けた基本的な考え方について

・佐野市指定管理者募集要項について

・佐野市指定管理者の指定に関する手續等について

- ・佐野市指定管理者の適正な運営の確保（市の責務）について
- ・佐野市指定管理者の取消しに関する手続等について
- ・佐野市指定管理者選定委員会について

(2) 調査における疑義

(1)に基づき提出された関係書類の事務検査において、各委員から出された現時点における疑義について、次のとおり報告する。

- ① 選定委員会の委員の選定基準とその理由、及び、利害関係があったのか、また、利害関係人がいた場合の取り扱い(除外する方法など)はどのようなになっているのか。
- ② 事業者、下請け業者の事前調査をどのように行っていたのか。
- ③ 審査の方法、選定委員会での議論など、書類提出から決定までの一連のプロセスはどうなっているのか。
- ④ 提出された提案書、あるいは、指定申請書に対し、行政担当者等から加筆・修正・削除等、また、アドバイス等があったのか。
- ⑤ 委員への資料の事前配布による個別審査の状況や、最終的な1次審査の結果など、第1次審査がどのように行われたのか。
- ⑥ 経営状況(納税状況等を含む)に対する審査がどのように行われたのか。
- ⑦ 第2次審査・プレゼンテーションにおいて、質疑の仕方と内容に偏りがあり、また、意見を述べる場において恣意的な質疑が繰り返された意図はこういったものだったのか。
- ⑧ 事業計画書の比較において、明らかに優位であると認識される団体が低く採点された根拠、及び、採点の理由について説明がなされたのか。
- ⑨ R5年の募集で、コンソーシアムの出資比率規定を無くしたのはどうしてなのか。
- ⑩ R5年の募集要項の変更の経緯はこういったものだったのか。
- ⑪ R3年の募集要項の変更が、公募開始後に応募事業者から出された質問書によってなされ、変更により追加された要件が、当該事業者の有する要件であったことは公正性に欠けるものであり、そのような変更

に至った根拠はどういったものだったのか。また、この他にも質問書が提出されていたのか。

- ⑫ 「関心表明書」と「団体推薦状」の位置づけと、選考へ与える影響、並びに、それらの書類の必要性及び信憑性はどういったものだったのか。また、「関心表明書」に関し、提出依頼に際して働きかけがなかったのか。
- ⑬ 指定管理者からの業務報告に対し、市の指導体制（モニタリングなど）はどうなっているのか。また、報告内容及び指導方法の基準はあったのか。
- ⑭ 当該企業が倒産するまでに行った市の調査等について、市はどのような対応（指導等）をして、どの程度認識していたのか。
- ⑮ 指定管理者の指定の取消後、直営管理ではなく、なぜ業務委託（事業者及び金額、業務の範囲）にしたのか。取り消さなければ良かったのではないのか。
- ⑯ 指定管理者の再募集に係る事務手続きについて、配点を見直した理由（根拠）及び事務所設置要件を変更した理由は何か。

7 今後の方針

本市の指定管理者制度の在り方に関し、上記「6 調査の内容」の課題・問題点等の意見交換を重ねているところであり、今後において疑義への回答を求めるなど、解明されていない事項及び改善策等について協議を継続する。